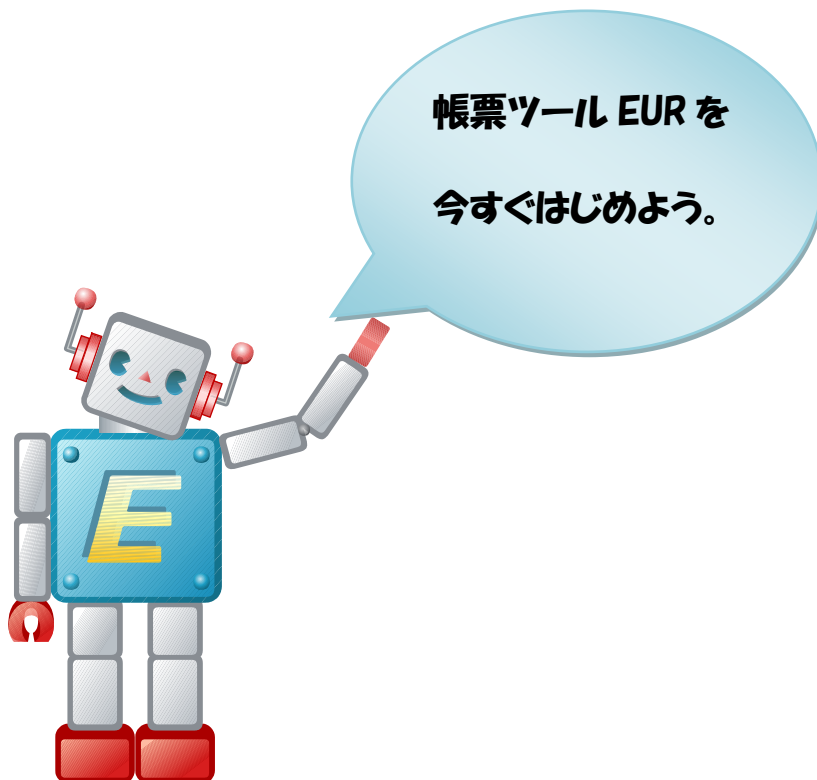


# EUR



EUR Developer 10-30 スターターガイド 帳票作成編



株式会社 日立製作所 ICT事業統括本部  
サービスプラットフォーム事業本部

## 【目次】

1.	体験版でいろいろな機能を体験してみよう	3
1.1.	帳票ファイルを作成してみよう	3
1.1.1.	CSVデータの読み込み	5
1.1.2.	用紙とグリッド設定	9
1.1.3.	固定文字列の作成	11
1.1.4.	文字属性の変更	12
1.1.5.	データウィンドウからの貼り付け	13
1.1.6.	罫線の配置	15
1.1.7.	データの繰り返し操作	16
1.1.8.	見出しの繰り返し操作	19
1.1.9.	帳票を見やすくする－改ブロック	20
1.1.10.	帳票を見やすくする－マッピングデータの修飾	21
1.1.11.	帳票を見やすくする－まとめ表示	23
1.1.12.	集計機能	24
1.1.13.	集計行の編集	26
1.1.14.	網掛け操作	29
1.1.15.	作成した帳票の保存と印刷	32
2.	最後に	33

# 1. 体験版でいろいろな機能を体験してみよう

## 1.1. 帳票ファイルを作成してみよう

作成する帳票の見本を以下に示します。フロアごとに列を切り替えてデータを繰り返して出力する帳票です。

フロア	商品分類名	売上げ高 (千円)	対先月 売上げ
B1	照明器具	1,800	200
	留守番電話	2,100	▲503
	ワープロ	4,050	150
	CDラジカセ	1,000	▲53
	カメラ	1,300	100
	総計	2,500	▲403
貴金属	6,000	200	
電気剃刀	850	▲10	
小計		20,600	
1F	冷蔵庫	2,400	30
	洗濯機	3,100	20
	エアコン	14,800	▲1,000
	掃除機	4,200	0
	布団乾燥機	7,800	▲500
掃除ロボット	2,300	▲50	
小計		34,900	
2F	ビデオデッキ	8,000	▲100
	ビデオカメラ	4,050	150
	テレビ	7,500	▲50
	ビデオソフト	2,000	▲100
	CDソフト	3,000	200
	ゲーム機器	18,000	1,000
	ゲームソフト	14,000	500
小計		56,550	
合計		112,050	

図 1.1-1 作成する帳票レイアウト

コンポーネント[EUR Designer]を利用して帳票ファイルを作成します。



図 1.1-2 体験版の中の[EUR Designer]の位置づけ

これから作成する帳票ファイルは、以下のSampleフォルダにもあります。

- 帳票ファイル  
C:\¥Program Files¥HITACHI¥EUR¥Sample¥XLSX¥Report1.fms
- マッピングデータファイル  
C:\¥Program Files¥HITACHI¥EUR¥Sample¥REPORTS¥Report1.csv

以下の手順で帳票作成を行います。それでは、早速、作成してみましょう。

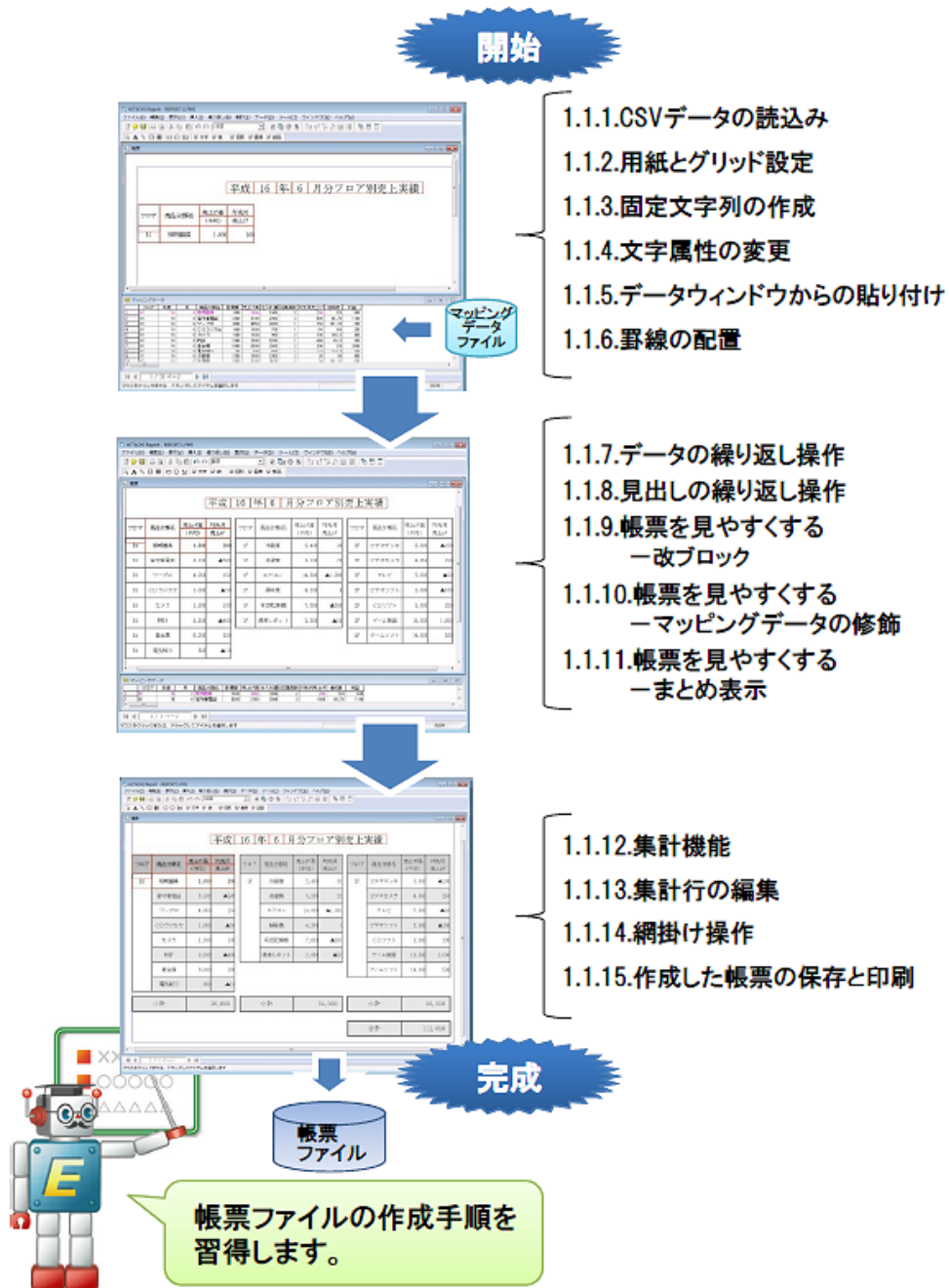
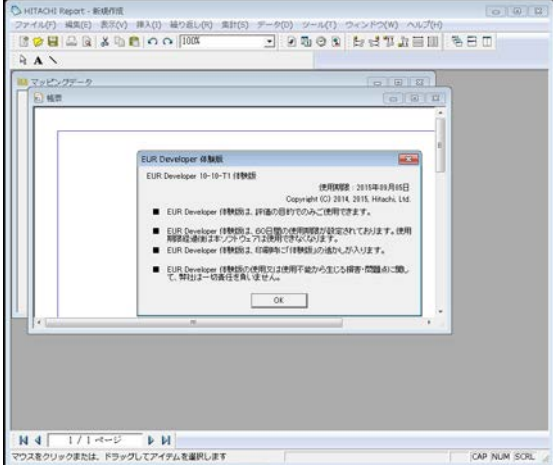
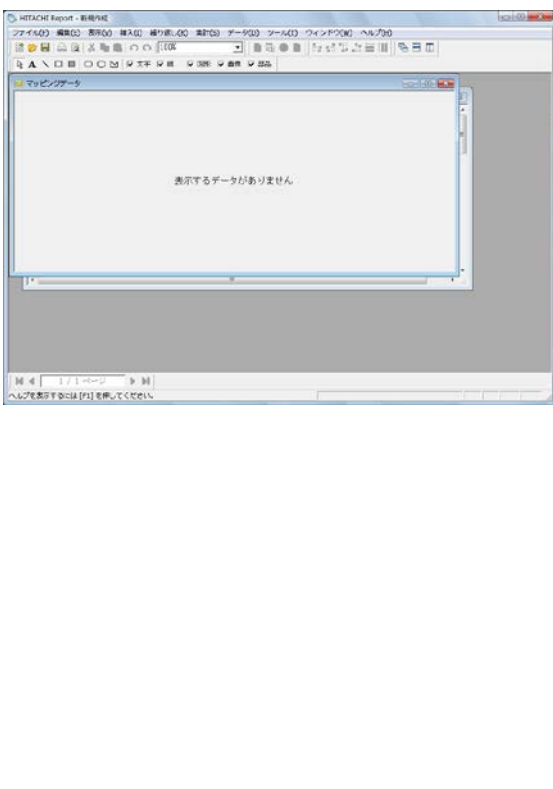

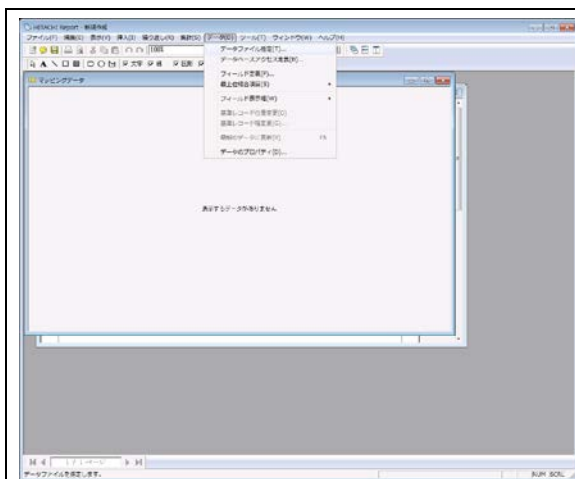


図 1.1-3 帳票ファイルの作成手順

### 1.1.1. CSV データの読み込み

帳票作成機能を起動し、CSV 形式ファイルからデータを読み込みます。

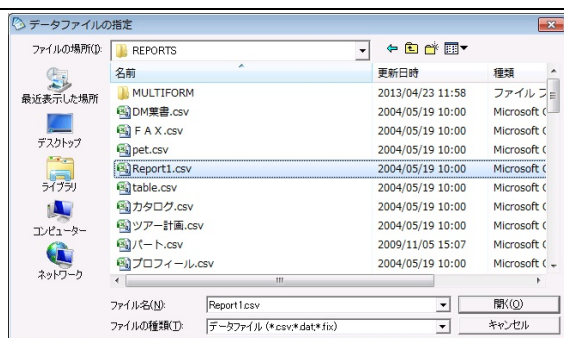
	<p>① 帳票作成機能を起動します。</p> <p>[スタートメニュー/すべてのプログラム/EUR Developer/帳票作成/帳票作成機能]を選択します。</p> <p>なお、体験版の使用期限を示すメッセージが表示されますので、[OK]ボタンをクリックして画面を閉じてください。</p>
	<p>② マッピングデータウィンドウをアクティブにします。</p> <p><b>Point</b> : マッピングデータウィンドウが表示されていない場合は、ウィンドウメニュー[表示]-[マッピングデータウィンドウ]を選択すると表示できます。</p> <p><b>Point</b> : この帳票ではユーザ定義データウィンドウを使用しません。もし表示されている場合は、閉じてかまいません。</p> <p>ユーザ定義データウィンドウのタイトルバーの  をクリックすると閉じます。</p> <p>再度表示したい場合は、ウィンドウメニュー[表示]-[ユーザ定義データウィンドウ]を選択します。</p>



③ 読み込む CSV 形式ファイルを指定します。

ウィンドウメニュー[データ]-[データファイル指定]を選択します。

[データファイルの指定]ダイアログが表示されます。

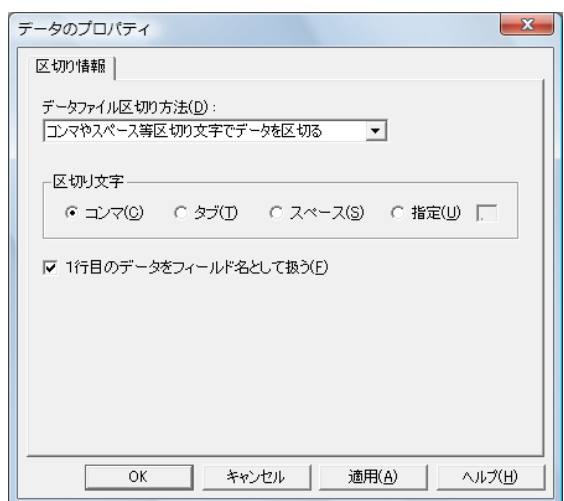


④ データファイルを指定します。

C:\Program Files  
 \Hitachi\EUR\Sample\REPORTS  
 \Report1.csv

を選択して[開く]ボタンをクリックします。

[データのプロパティ]ダイアログが表示されます。



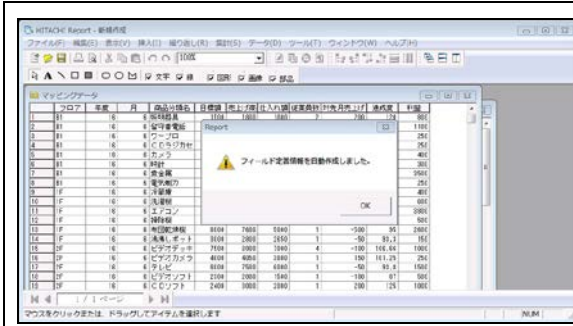
⑤ 区切り情報を指定します。

使用するデータファイルは CSV 形式のため、[データファイル区切り方法]は[コンマやスペース等区切り文字でデータを区切る]を指定します。

また、指定した CSV 形式ファイルには、1 行目にフィールド名が入っているため、[1 行目のデータをフィールド名として扱う]をチェックします。

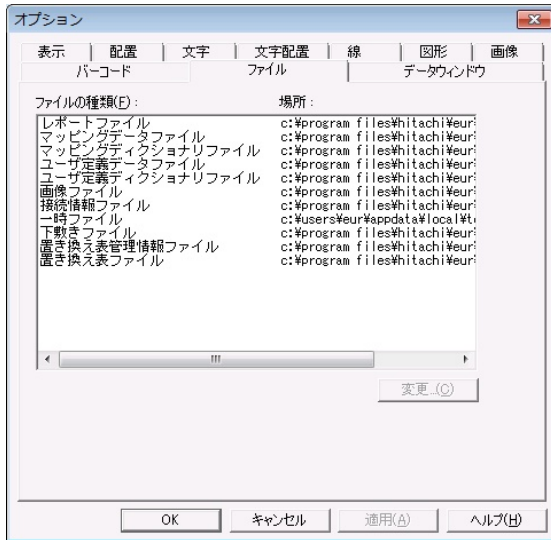
[OK]ボタンをクリックします。

**Point** : 固定長ファイルの場合は[データファイル区切り方法]を[指定した区切り位置でデータを区切る]に変更し、区切り位置を指定してください。



⑥ フィールド定義情報が自動作成されます。

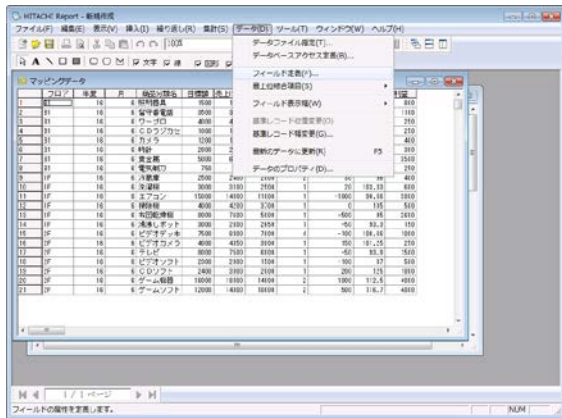
メッセージダイアログが表示されますので、[OK]ボタンをクリックします。



**Point** : 帳票定義時に使用するファイルのデフォルトの読み込み先を変更できます。

ウィンドウメニュー[ツール]—[オプション]を選択し、[ファイル]のタブをクリックします。任意のフォルダを指定して、[変更]ボタンをクリックします。

設定が完了したら、[OK]ボタンをクリックします。



⑦ 各フィールドの種別を設定します。

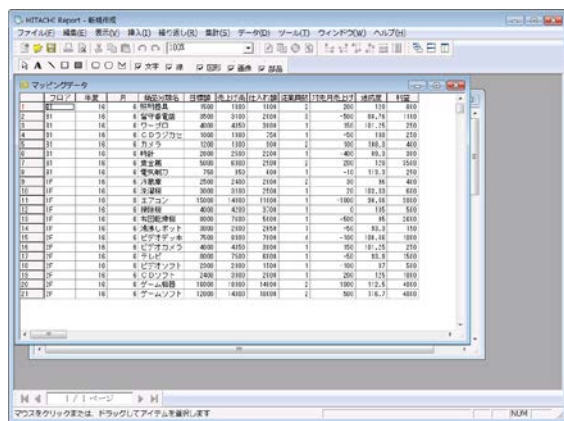
読み込んだデータのフィールドごとに、文字列、数値、バーコードなどの種別を設定します。

ウィンドウメニュー [データ]—[フィールド定義]を指定し[フィールド定義]ダイアログを表示します。



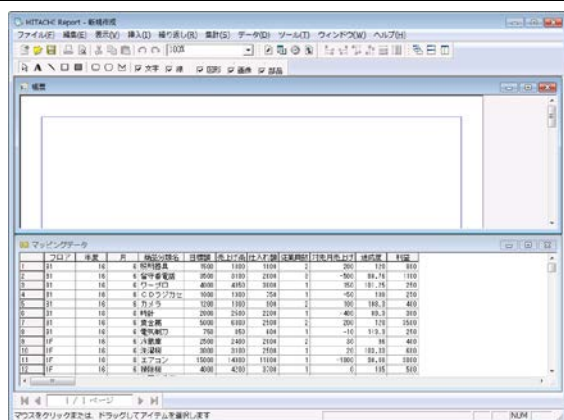
⑧ フィールドの種別が以下のように定義されていることを確認し、[OK]ボタンをクリックします。

- 1 : [フロア] 文字列
- 2 : [年度] 数値
- 3 : [月] 数値
- 4 : [商品分類名] 文字列
- 5 : [目標額] 数値
- 6 : [売上げ高] 数値
- 7 : [仕入れ額] 数値
- 8 : [従業員数] 数値
- 9 : [対先月売上げ] 数値
- 10 : [達成度] 数値
- 11 : [利益] 数値



⑨ マッピングデータウィンドウのすべての列にデータが表示されていることを確認します。

**Point :** フィールド定義で指定した種別と入力データの形式が一致していない場合、読み込んだはずのデータが表示されなかったり、データをレイアウトしたときに正しく表示できなかったりします。



⑩ ウィンドウを整列します。

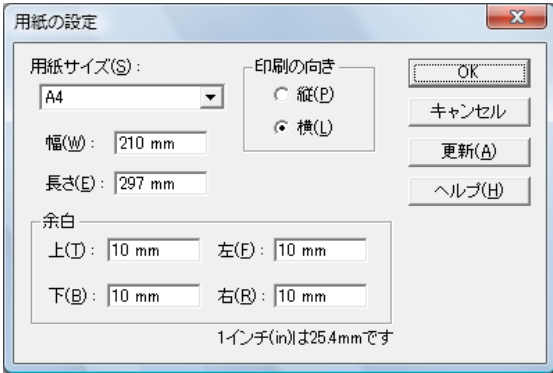
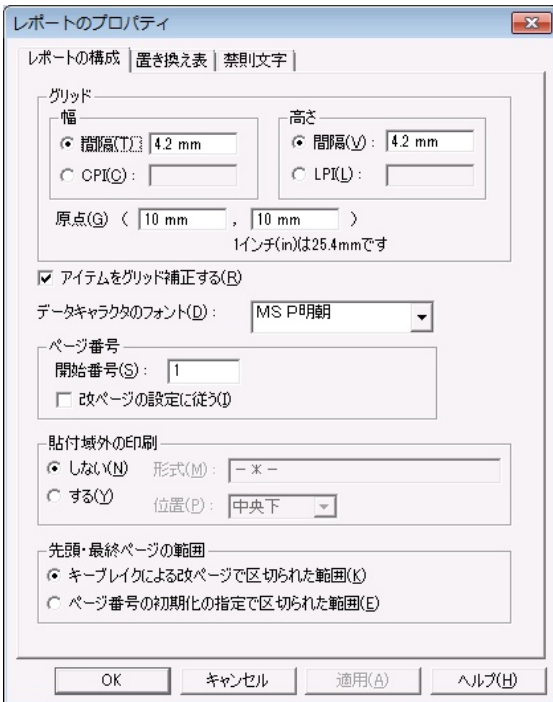
帳票を定義しやすいようにウィンドウを整列します。  
帳票ウィンドウをアクティブにし、ウィンドウメニュー[ウィンドウ]-[上下に並べて表示]を選択してください。

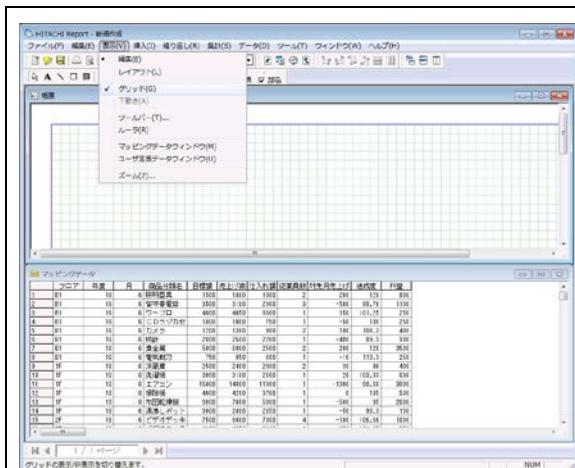
**Point :** [上下に並べて表示]を選択した場合、アクティブなウィンドウを上にしてウィンドウを並べます。



## 1.1.2. 用紙とグリッド設定

帳票の用紙とグリッドの設定とグリッド・ルーラ表示を行います。

	<p>① 帳票の用紙サイズや余白を設定します。</p> <p>ウィンドウメニュー[ファイル]—[用紙の設定]を選択し、[用紙の設定]ダイアログを表示します。</p> <p>以下のように指定します。</p> <p>用紙サイズ：A4 印刷の向き：横</p> <p>[OK]ボタンをクリックします。</p>
	<p>② グリッドの間隔を指定します。</p> <p>ウィンドウメニュー[ファイル]—[プロパティ]を選択し、[レポートのプロパティ]ダイアログを表示します。</p> <p>グリッドの間隔を指定します。</p> <p>後述の Excel 出力のために、以下のように指定します。</p> <p>グリッド・幅・間隔：4.2mm グリッド・高さ・間隔：4.2mm</p> <p>[OK]ボタンをクリックします。</p> <p><b>Point</b>：Excel 形式ファイルで帳票出力する場合、Excel 形式ファイルのセルの高さと幅は、ともに 16 ピクセルであり、Excel での 16 ピクセルは 4.23333...mm ですので、グリッドの間隔を近似値 4.2mm で指定しています。1.1.章の Excel 形式ファイルの出力でアイテムの位置ずれが起きないように、ここで調整します。</p>

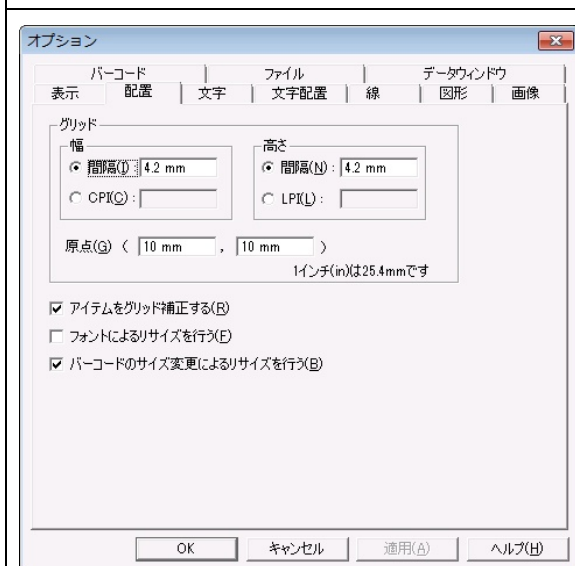


③ グリッドを表示します。

罫線や文字列の配置を揃える時に使う格子線(グリッド)を表示できます。

ウィンドウメニュー[表示]-[グリッド]を選択すると、グリッドが表示されます。

グリッド表示が不要な場合はもう一度ウィンドウメニュー[表示]-[グリッド]を選択し、解除してください。



**Point** : グリッドの幅を変更したい場合は、ウィンドウメニュー[ツール]-[オプション]を選択し、[オプション]ダイアログを表示します。

[配置]タブを開いて、チェックボックス[アイテムをグリッド補正する]にチェックを入れると、グリッド表示・非表示に関わらず、グリッドの角に合わせてアイテムを配置できます。

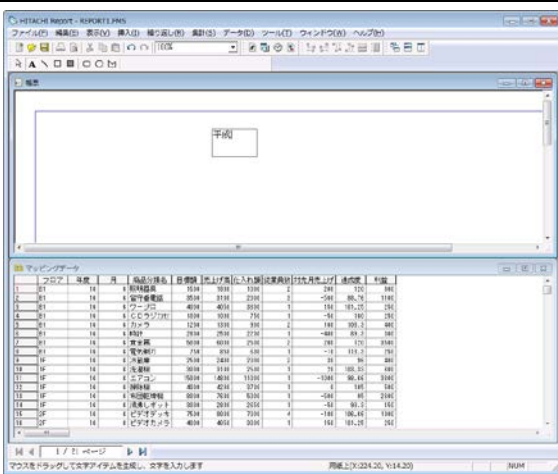
チェックをはずすとグリッド補正せずにアイテムを配置できます。

ここでは、グリッド補正にチェックをお勧めします。

指定後、[OK]ボタンをクリックします。

### 1.1.3. 固定文字列の作成

帳票のタイトルの固定文字列を作成します。



① 帳票のタイトルとなる文字列を入力します。

ツールボックスの **A** をクリックします。

カーソルの形が十字に変わります。


帳票ウィンドウ上の適当な位置でマウスをドラッグします。また、格子線(グリッド)を利用して、サイズを調整します。


  

次に文字列を入力します。

平成  
年  
月分フロア別売上実績

ツールボックスの  をクリックするか、アイテムの枠外をクリックして入力を確定します。

**Point** : アイテムの作成を行った後は、選択モード(ツールボックスの  が選択されている状態)にしておくと良いでしょう。

**Point** : 入力した文字列に対して枠が小さく、文字列が一部分または全て表示されないことがあります。その場合はアイテムを選択し、枠の境界へマウスカーソルを移動するとカーソルの形状が変わるので、その状態でドラッグして枠を大きくしてください。

また、配置したアイテムの位置を変えたい場合には、アイテムを選択し、マウスカーソルを枠内に置いてドラッグすることで位置を変えることができます。

① 帳票のタイトルとなる文字列を入力します。

ツールボックスの **A** をクリックします。

カーソルの形が十字に変わります。


帳票ウィンドウ上の適当な位置でマウスをドラッグします。また、格子線(グリッド)を利用して、サイズを調整します。


  

次に文字列を入力します。

平成  
年  
月分フロア別売上実績

ツールボックスの  をクリックするか、アイテムの枠外をクリックして入力を確定します。

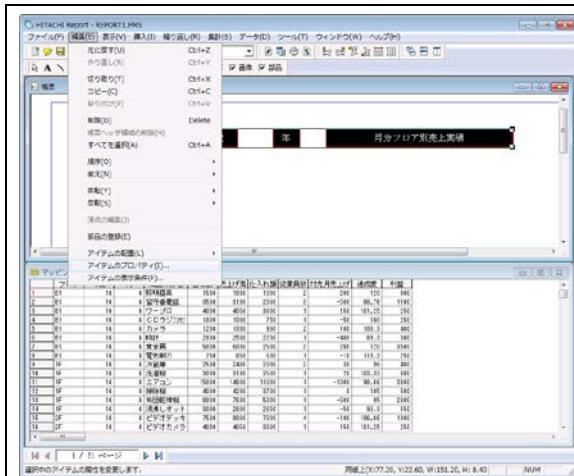
**Point** : アイテムの作成を行った後は、選択モード(ツールボックスの  が選択されている状態)にしておくと良いでしょう。

**Point** : 入力した文字列に対して枠が小さく、文字列が一部分または全て表示されないことがあります。その場合はアイテムを選択し、枠の境界へマウスカーソルを移動するとカーソルの形状が変わるので、その状態でドラッグして枠を大きくしてください。

また、配置したアイテムの位置を変えたい場合には、アイテムを選択し、マウスカーソルを枠内に置いてドラッグすることで位置を変えることができます。

### 1.1.4. 文字属性の変更

アイテムの文字の大きさや、書体、文字列の変更をします。

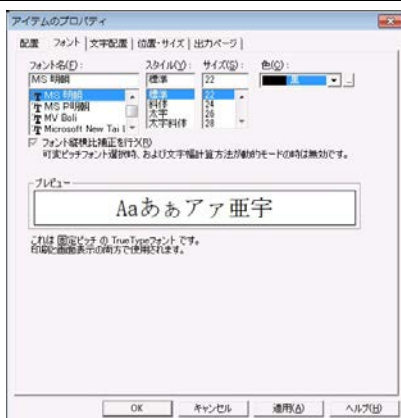


① 帳票のタイトルを編集します。

属性は、[アイテムのプロパティ]ダイアログで編集できます。

作成したタイトルの文字列をクリックし、ウィンドウメニュー[編集]-[アイテムのプロパティ]を選択、またはマウスの右ボタンをクリックして[アイテムのプロパティ]を選択します。

**Point** : 複数のアイテムを選択するには、複数アイテムを囲むような枠を作るようにマウスをドラッグしてください。<Ctrl>キーを押しながらアイテムをクリックして複数アイテムを選択することもできます。



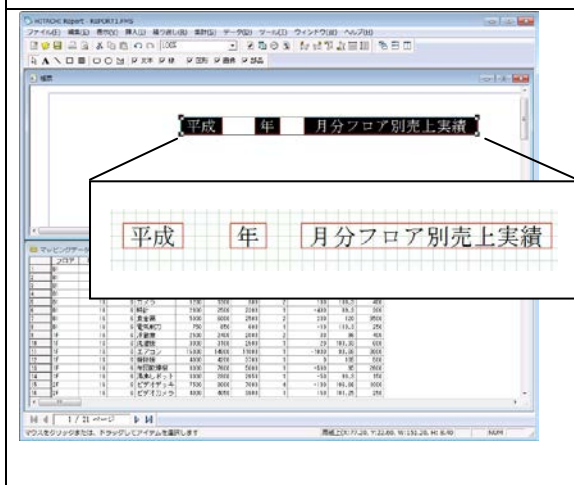
② フォント名やサイズを指定します。

必要に応じ、[アイテムのプロパティ]ダイアログで各項目を指定します。

タイトルは、フォントを大きめにすると良いでしょう。

ここではサイズを 22 ポイントに設定します。

[OK]ボタンをクリックします。



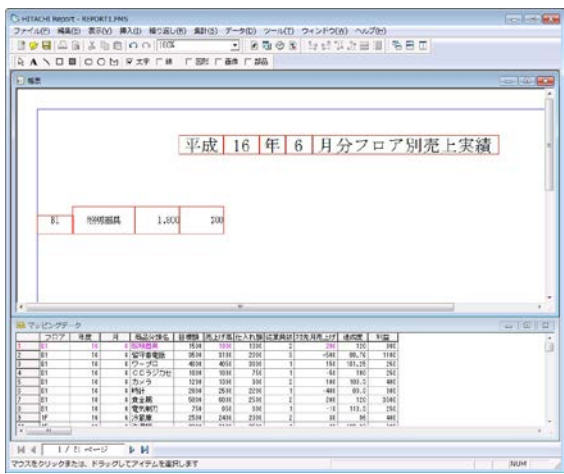
③ アイテムに反映されますので、指定した属性に変更されたことを確認してください。

**Point** : 文字列の内容を変更したい場合は、アイテムをダブルクリックしてください。

アイテム枠内にカーソルが表示され、文字列を編集できます。

### 1.1.5. データウィンドウからの貼り付け

データウィンドウから貼付域にマッピングデータを貼り付けます。



① データをマッピングします。

マッピングデータウィンドウの 1 レコード目の必要なデータを選択し、マウスマウスカーソルが十字にかわったらドラッグして帳票ウィンドウにドロップします。

以下のデータを貼り付けます。

[B1](フロア)  
[16](年度)  
[6](月)  
[照明器具](商品分類名)  
[1800](売上げ高)  
[200](対先月売上げ)

[16](年度)、[6](月)のフォントはタイトルと同じ文字サイズ(ここでは 22 ポイント)に変更します。他の文字サイズは、デフォルトの 12 ポイントのままです。

ここでは、格子線(グリッド)に合わせて、[B1]、[照明器具]、[1800]、[200]の幅、高さを調整してください。

貼り付けたデータの配置も調整します。

[B1]の配置については、後述の[1.1.11.帳票を見やすくするーまとめ表示]できれいに表示できるように、[アイテムのプロパティ]ダイアログの[配置]タブで以下のように指定します。

縦位置：上寄せ

**Point**： [1800] → [1,800]]にコンマ表示[,]を追加する方法は、[1.1.10.帳票を見やすくするーマッピングデータの修飾]をご覧ください。

① データをマッピングします。

マッピングデータウィンドウの 1 レコード目の必要なデータを選択し、マウスマウスカーソルが十字にかわったらドラッグして帳票ウィンドウにドロップします。

以下のデータを貼り付けます。

[B1](フロア)  
[16](年度)  
[6](月)  
[照明器具](商品分類名)  
[1800](売上げ高)  
[200](対先月売上げ)

[16](年度)、[6](月)のフォントはタイトルと同じ文字サイズ(ここでは 22 ポイント)に変更します。他の文字サイズは、デフォルトの 12 ポイントのままです。

ここでは、格子線(グリッド)に合わせて、[B1]、[照明器具]、[1800]、[200]の幅、高さを調整してください。

貼り付けたデータの配置も調整します。

[B1]の配置については、後述の[1.1.11.帳票を見やすくするーまとめ表示]できれいに表示できるように、[アイテムのプロパティ]ダイアログの[配置]タブで以下のように指定します。

縦位置：上寄せ

**Point**： [1800] → [1,800]]にコンマ表示[,]を追加する方法は、[1.1.10.帳票を見やすくするーマッピングデータの修飾]をご覧ください。

平成 16 年 6 月分フロア別売上実績

B1	照明器具	1,800	200
----	------	-------	-----

アイテムのプロパティ

データ | 表示形式 | 配置 | **フォント** | 文字配置 | 位置・サイズ | 置き換え表 |

横位置

- 左寄せ(L)
- 中央(C)
- 均等(E)
- 右寄せ(R)

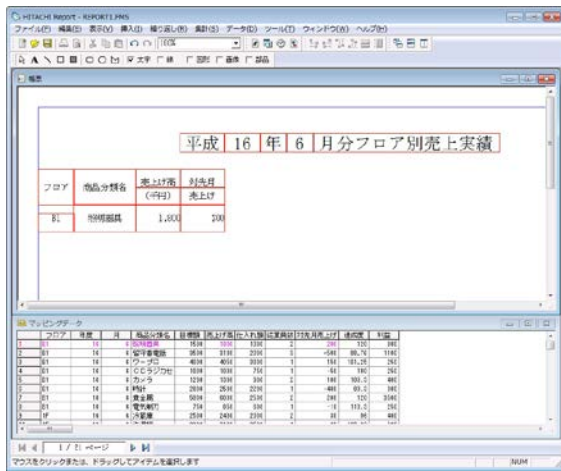
縦位置

- 上寄せ(T)
- 中央(M)
- 均等(D)
- 下寄せ(B)

OK    キャンセル    適用(A)    ヘルプ(H)

**Point** : マッピングデータウィンドウ上のドラッグによって複数のデータを選択することも可能です。

**Point** : データ長がアイテム枠を超えて文字が表示されない場合や[\*]で表示される場合は、アイテム枠の大きさを大きくするか、フォントを小さくしてデータ全体が表示されるように調整してください。



② フィールド名をマッピングします。

フィールド名(テーブル画面の 1 行目に表示されている見出し)も同様に貼り付けることができます。

以下のフィールド名を貼り付けます。

- [フロア]
- [商品分類名]
- [売上げ高]
- [対先月売上げ]

[対先月売上げ]は、2 つ貼り付けて、それぞれ、[対先月]と[売上げ]に加工します。  
[(千円)]は、文字列を入力します。

フロア	商品分類名	売上げ高 (千円)	対先月 売上げ
B1	照明器具	1,800	200

こちらも格子線(グリッド)に合わせて調整してください。

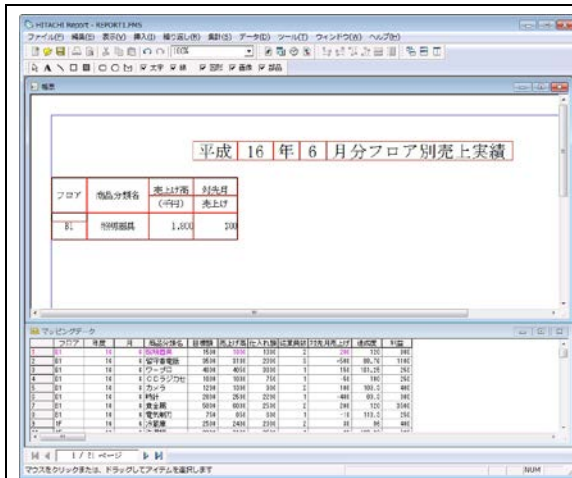
[売上げ高]と[対先月]の配置は、[アイテムのプロパティ]ダイアログの[配置]タブで以下のように指定します。

縦位置 : 下寄せ


**Point** : 貼り付けた見出しは、固定文字列として扱われます。編集や属性変更する場合は、タイトルを作成した時と同じ操作で行えます。


### 1.1.6. 罫線の配置

罫線を引いて、明細表の枠を作成します。



① 罫線を引きます。

ツールボックスの  (矩形) をクリックして枠を

作成し、  を選択して線を引きます。

見出しとマッピングデータをそれぞれ囲むように罫線を引き、レイアウトを整えてください。

**Point** : 矩形アイテムで作成した 4 本の線は独立しています。そのため、矩形アイテムで作成した線を選択して線種の変更や移動するときは、4 回の操作が必要です。

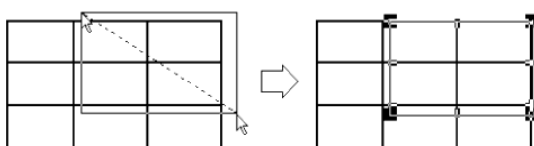
**Point** : 罫線は、<Shift>キーを押したままドラッグすると、始点から 45 度間隔の直線となり、直線を簡単に作成することができます。

**Point** : 線アイテムを複数選択する場合は、<Ctrl>キーを押したままクリックしてください。

**Point** : 重なった線(直線)は、1 本の線として認識されます。作成した線が、重なった(直線に見える)場合は、1 本の線として認識されます。

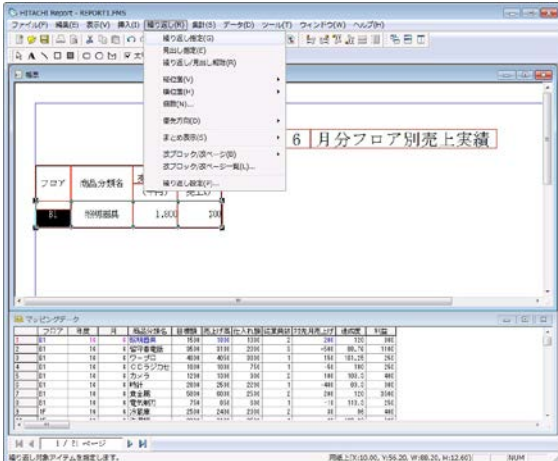
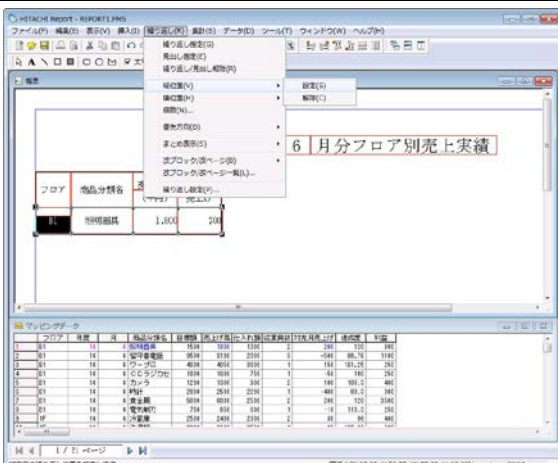
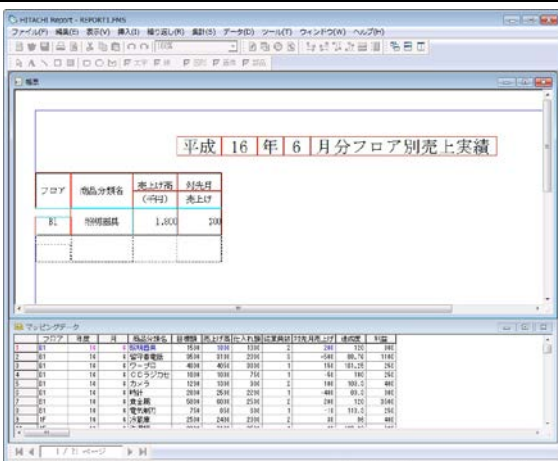
**Point** : 線は、選択したところだけ分離されます。表などを構成する線の一部を複数選択で選択する場合は、選択対象とする線の部分をラバーバンドでなぞるようにドラッグしてください。この場合、線アイテムは、1 本 1 本の線を選択状態にするのではなく、ラバーバンドで囲まれた部分だけを対象とします。

(例)

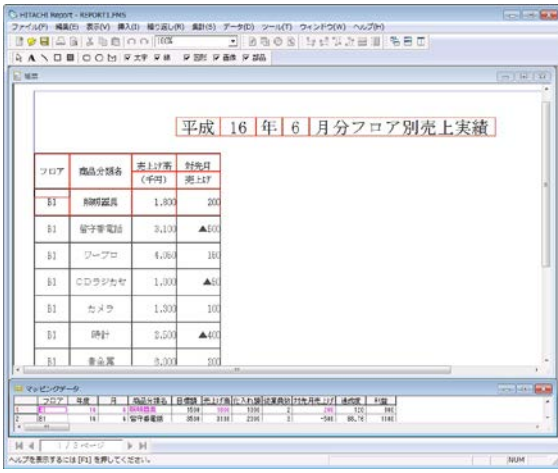

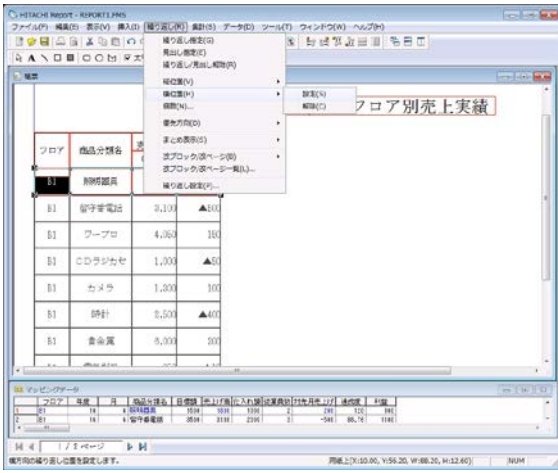


### 1.1.7. データの繰り返し操作

繰り返しを定義すると、データウィンドウのすべてのデータを自動的に繰り返すことが可能です。

	<p>① 繰り返したいアイテムを選択します。</p> <p>配置した1レコード目のデータと同じ形式でデータを繰り返して、明細表を作成します。</p> <p>帳票ウィンドウにマッピングされているデータ ([B1]、[照明器具]、[1800]、[200]) とそれらを囲む罫線を選択します。</p> <p>ウィンドウメニュー[繰り返し]-[繰り返し指定]を選択します。</p>
	<p>② 繰り返す方向を指定します。</p> <p>ウィンドウメニュー[繰り返し]-[縦位置]-[設定]を選択します。</p> <p>マウスカーソルが十字になります。</p>
	<p>③ 繰り返しの間隔を指定します。</p> <p>マウスの左ボタンをクリックするとラバーバンド*が現れます。左ボタンをクリックしたまま、ラバーバンドをドラッグして縦位置(繰り返しの間隔)を設定します。</p> <p>上辺がマッピングデータを囲む罫線の下辺に重なるような位置を指定します。</p>



	<p>*ラバーバンド</p> <p>ここでは、複数のアイテムを繰り返し対象とした時に、選択アイテム全体の枠線を点線で表示したものをいいます。</p>
	<p>④ 縦方向にデータが繰り返されます。</p> <p><b>Point</b> : 縦方向の繰り返しを解除する場合、ウィンドウメニュー[繰り返し]–[縦位置]–[解除]を選択してください。</p> <p>また、ウィンドウメニュー[編集]–[元に戻す]、またはツールバーの  ボタンで1つ前の操作に戻すことができます。</p> <p><b>Point</b> : [対先月売上げ]のマイナス値の負符号文字を[-]→[▲]に変更する方法は、[1.1.10.帳票を見やすくする–マッピングデータの修飾]をご覧ください。</p>
	<p>⑤ 横方向にも繰り返します。</p> <p>ウィンドウメニュー[繰り返し]–[横位置]–[設定]を選択し、縦位置を決めた時と同じ操作を横方向に行います。</p>

フロア	商品分類名	売上げ高 (千円)	対先月 売上げ
B1	新明細書	1,300	200
B1	留守電話番号	3,100	▲500
B1	フープロ	4,350	150
B1	CDラジカセ	1,000	▲50
B1	カメラ	1,300	100
B1	時計	2,500	▲100
B1	書金簿	2,300	100

⑥ マウスマウサーが十字に変わります。

左ボタンをクリックしたまま、ラバーバンドをドラッグして横位置(繰り返しの間隔)を設定します。

フロア	商品分類名	売上げ高 (千円)	対先月 売上げ
B1	新明細書	1,300	200
B1	留守電話番号	3,100	▲500
B1	フープロ	4,350	150
B1	CDラジカセ	1,000	▲50
B1	カメラ	1,300	100
B1	時計	2,500	▲100
B1	書金簿	2,300	200

1F	新明細書	4,300	0
1F	有価証券簿	7,300	▲500
1F	繰上りポット	2,300	▲50
2F	ビデオデッキ	8,000	▲100
2F	ビデオカメラ	1,300	100
2F	テレビ	7,300	▲50
2F	ビデオソフト	3,000	▲100

横方向にもデータが繰り返して表示されます。

**Point** : アイテムの繰り返しを解除する場合、解除したいアイテムを指定して、ウィンドウメニュー[繰り返し]-[繰り返し/見出し解除]を選択します。

### 1.1.8. 見出しの繰り返し操作

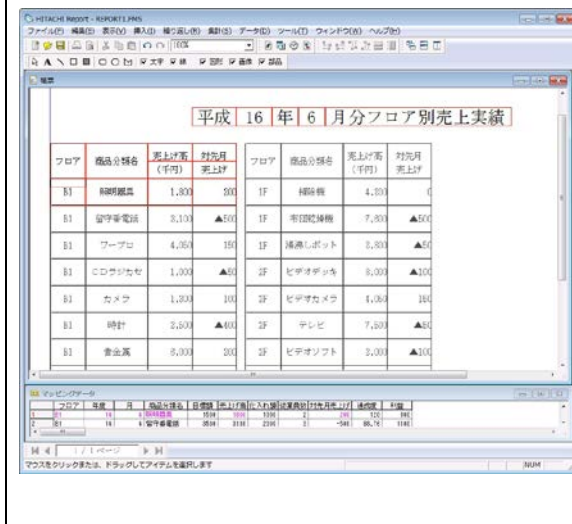
今までの操作で繰り返されるのはフィールドのデータだけです。データの配置に応じて、見出しを繰り返すことが可能です。



① 見出しとして繰り返したいアイテムを選択します。

見出しアイテム ([フロア]、[商品分類名]、[売上げ高]、[(千円)]、[対先月] [売上げ]) とそれらを囲む罫線を選択します。

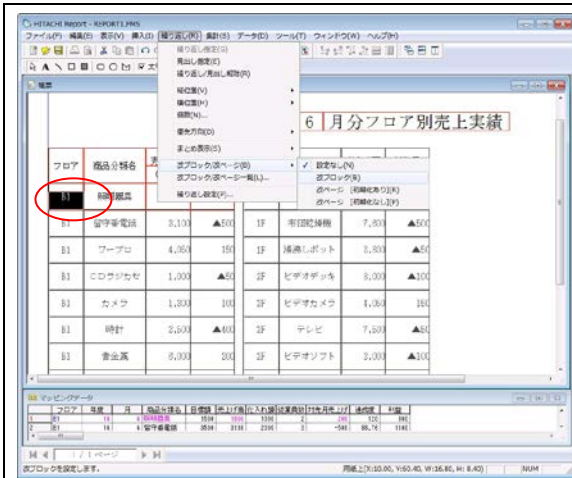
ウィンドウメニュー [繰り返し] - [見出し指定] を選択します。



データの配置に応じて、見出しが自動的に繰り返されて表示されます。

### 1.1.9. 帳票を見やすくする－改ブロック

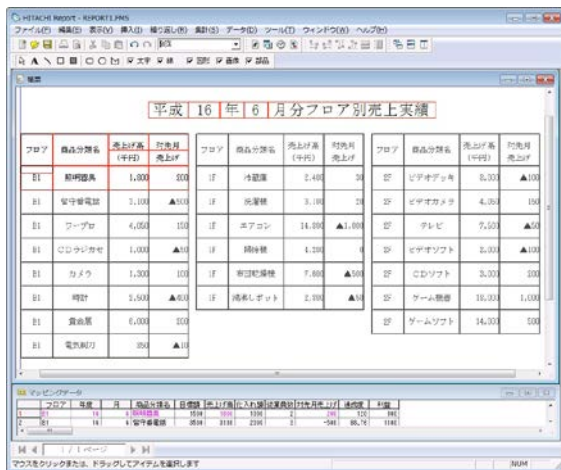
指定したフィールドの同じ値を持つデータ毎にブロックを変えたい場合に、改ブロックを行います。



① ブロック\*を変えたいフィールドを選択します。

フロア毎にブロックを変えます。帳票ウィンドウにマッピングされている[B1]を選択します。

ウィンドウメニュー[繰り返し]－[改ブロック/改ページ]－[改ブロック]を選択します。



[フロア]別- [B1] [1F] [2F] に改ブロックされたことを確認します。

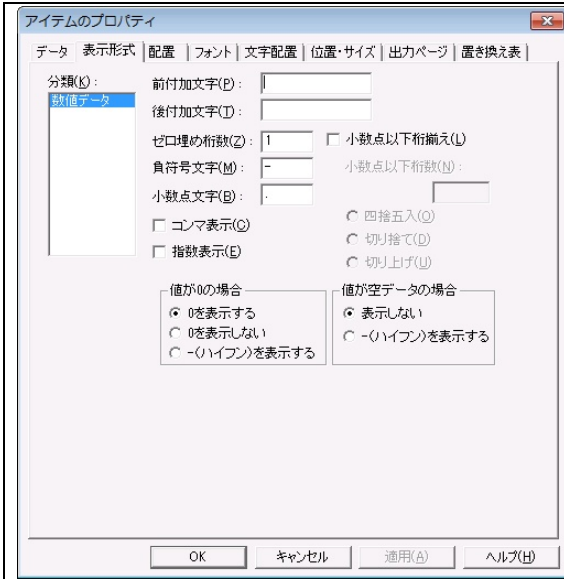
#### \*ブロック

縦あるいは横方向に繰り返したデータのまとまりをブロックといいます。

改ブロックとは、同じ値を持つデータ毎にこのまとまりを分けることをいい、改ページとはページを分けることをいいます。

### 1.1.10. 帳票を見やすくする－マッピングデータの修飾

数値データにコンマを表示したり、負符号を変更したりできます。

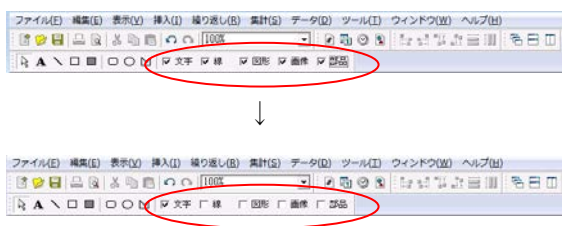


① 修飾するフィールドのマッピングデータを選択します。

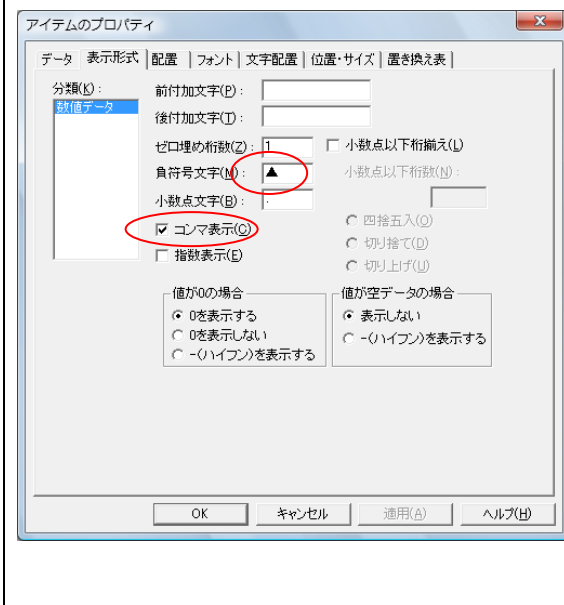
[売上げ高]フィールドと、[対先月売上げ]フィールドのデータを修飾します。帳票ウィンドウにマッピングされている[1800]と[200]を選択します。

ウィンドウメニュー[編集]－[アイテムのプロパティ]を選択します。

表示されたダイアログの[表示形式]のタブを選択します。



**Point** : 複数選択でアイテムを選択するときに、選択したくないアイテムのチェックボックスをオフにすると、オフ対象のアイテムは選択されません。



② 修飾する項目を指定します。

[1800]の[アイテムのプロパティ]では、[コンマ表示]にチェックを入れます。  
[200] の[アイテムのプロパティ]では、[コンマ表示]のチェックと、負符号記号「-」を[▲]に変更します。

[OK]ボタンをクリックします。

フロア	商品分類名	売上金額 (千円)	対先月 売上%	フロア	商品分類名	売上金額 (千円)	対先月 売上%	フロア	商品分類名	売上金額 (千円)	対先月 売上%
E1	照明器具	1,000	200	IF	内装調	2,400	200	E2	ビデオデッキ	8,000	▲100
E1	留守番電話	3,100	▲100	IF	洗濯機	3,100	200	E2	ビデオカメラ	4,000	150
E1	フープロ	4,000	100	IF	エアコン	14,000	▲1,000	E2	テレビ	7,000	▲50
E1	ビデオカメラ	1,000	▲100	IF	掃除機	4,000	0	E2	ビデオソフト	2,000	▲100
E1	カメラ	1,000	100	IF	家庭用掃除機	7,000	▲500	E2	CDソフト	3,000	200
E1	時計	5,000	▲600	IF	携帯レコーダ	2,000	▲100	E2	ゲーム機	10,000	1,000
E1	食品類	6,000	200					E2	ゲームソフト	14,000	200
E1	電気器具	300	▲10								

③ 数値データが修飾されました。

[売上げ高]フィールドのデータに、コンマがつきました。

また、[対先月売上げ]フィールドのデータに、コンマがつきました。

マイナス値の負符号文字[-]が[▲]に変更されました。

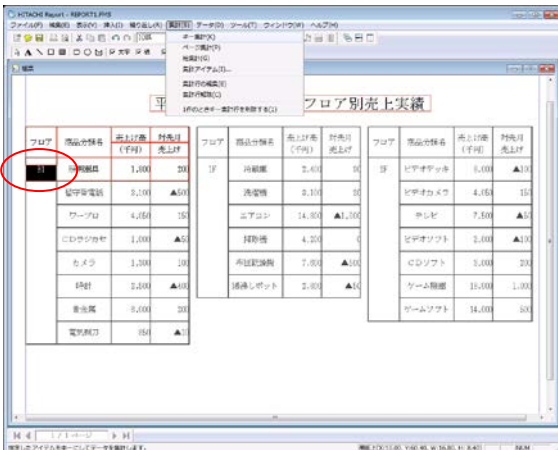
### 1.1.11. 帳票を見やすくする－まとめ表示

重複しているデータを1つだけ表示する機能です。

<p>① まとめ表示の設定をします。</p> <p>フロアの値をまとめて表示します。 帳票ウィンドウにマッピングされている[B1]を選択します。</p> <p>ウィンドウメニュー[繰り返し]－[まとめ表示]－[階層なし]を選択します。</p> <p><b>Point</b> : まとめ表示の階層ありの場合は、優先順位の高いフィールドの順にまとめ表示します。階層なしの場合は、同じデータが連続しているフィールドをまとめ表示します。ほかのフィールドとの関係はありません。</p>	<p>② まとめ表示されます。</p> <p>重複して繰り返し表示されていたデータが、1つだけ表示されるようになりました。</p>

### 1.1.12. 集計機能

貼り付けた数値データの集計もできます。ここでは、キー集計と総集計を行います。



The screenshot shows a window titled 'フロア別売上実績' (Sales Performance by Floor). It contains three tables. The first table has columns: 'フロア' (Floor), '商品名' (Product Name), '売上高 (千円)' (Sales Amount in 1000 Yen), and '対先月' (vs. Previous Month). The 'フロア' column is circled in red. The second table has columns: 'フロア', '商品名', '売上高 (千円)', and '対先月'. The third table has columns: 'フロア', '商品名', '売上高 (千円)', and '対先月'.

① キー集計を行います。

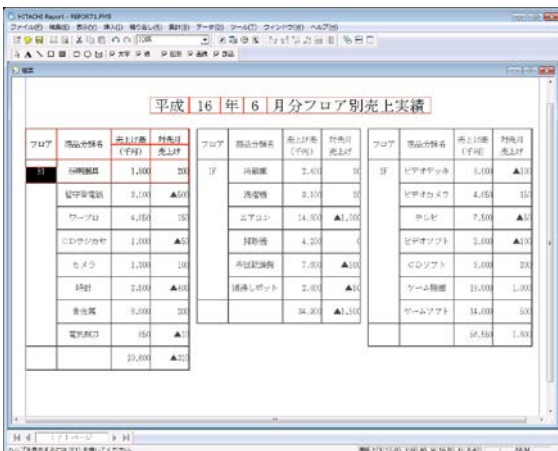
キー集計とは、フィールド毎にデータの集計を行う機能です。最初に、フロア毎のデータの合計を追加します。

[フロア] フィールドをキーにするため、帳票ウィンドウにマッピングされている[B1]を選択します。

ウィンドウメニュー[集計]-[キー集計]を選択します。

**Point** : 集計行(キー集計、総集計)の作成は、繰り返しの定義が終わってから行ってください。集計行を作成したあとで繰り返しなどの変更をしても、作成された集計行には反映されません。

---



The screenshot shows the same window as above, but now with a new row at the bottom of the first table. This row is a summary row for the 'フロア' column, with a value of 20,000 in the '売上高 (千円)' column and 200 in the '対先月' column.

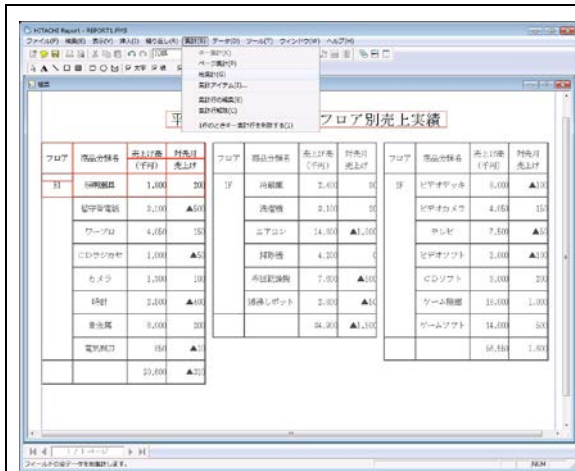
② 集計行が表示されます。

各ブロックの最後に数値データである[売上高]、[対先月売上]のフロア毎の合計行(集計行)が設定されます。

**Point** : 改ブロックをしていない場合には、集計行はキーの値の変わり目に挿入されます。

**Point** : 複数のフィールドをキーにして、集計することもできます。この場合、集計のキーに指定した複数のフィールドのうち1つでもデータが変化すると集計行が追加されます。

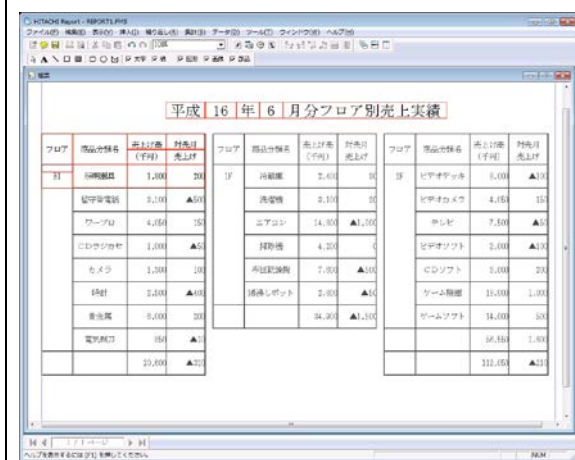




③ 総集計を行います。

総集計とは、フィールドの全レコードのデータを  
集計する機能です。

ウィンドウメニュー[集計]－[総集計]を選択しま  
す。



④ 総集計行が表示されます。


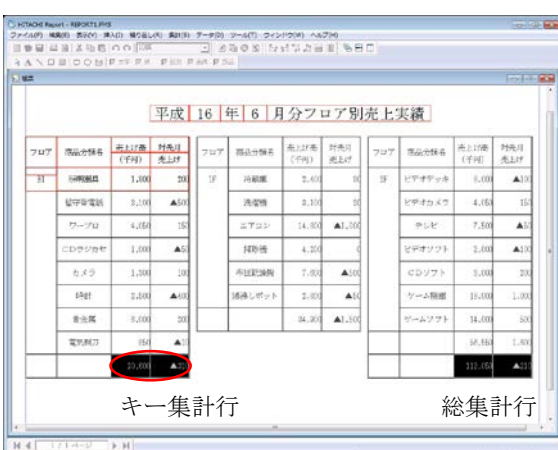
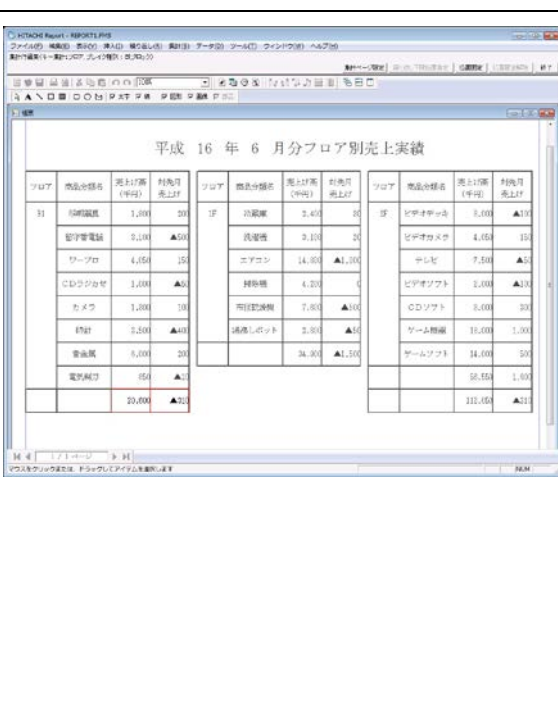
最終行の後に[売上げ高]、[対先月売上げ]の合計  
行(集計行)が追加されます。

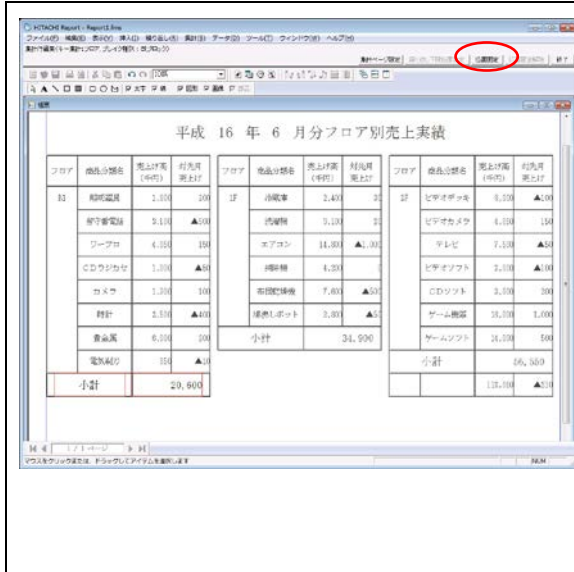
**Point** : 集計を行うと、集計値の初期値として合  
計が挿入されます。

次節で説明する集計行編集により、集計値を平均  
や件数等に変えることができます。

### 1.1.13. 集計行の編集

集計行は、集計行編集モードで編集します。集計行の修飾や、出力位置の変更ができます。

 <p>① 集計行編集モードに切り替えます。</p> <p>ウィンドウメニュー[集計]-[集計行の編集]を選択します。</p>	<p>① 集計行編集モードに切り替えます。</p> <p>ウィンドウメニュー[集計]-[集計行の編集]を選択します。</p>
 <p>② マウスマウスカーソルが十字に変わります。</p> <p>集計行のアイテム(集計データ)が反転表示されるので、編集する集計行のアイテムを選択します。</p> <p>ここではまず、キー集計行(フロア毎の合計)を選択しましょう。</p> <p>集計行編集モードになり、ツールバーの上にもう一つツールバーが表示されます。</p>	<p>② マウスマウスカーソルが十字に変わります。</p> <p>集計行のアイテム(集計データ)が反転表示されるので、編集する集計行のアイテムを選択します。</p> <p>ここではまず、キー集計行(フロア毎の合計)を選択しましょう。</p> <p>集計行編集モードになり、ツールバーの上にもう一つツールバーが表示されます。</p>
 <p>③ 集計行を編集します。</p> <p>集計行編集モードでは、集計行に様々な編集ができます。集計行の編集は、先頭の集計行に対して行います。</p> <p>ここでは以下の編集を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 必要のない集計データ(対先月げ売上)を削除します。</li> <li>• 必要のない罫線を削除します。</li> <li>• 集計データ(売上げ高)の文字サイズ(ここでは16ポイント)を変更します。</li> <li>• 文字列で[小計]と入力します。文字サイズ(ここでは16ポイント)を変更します。</li> </ul>	<p>③ 集計行を編集します。</p> <p>集計行編集モードでは、集計行に様々な編集ができます。集計行の編集は、先頭の集計行に対して行います。</p> <p>ここでは以下の編集を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 必要のない集計データ(対先月げ売上)を削除します。</li> <li>• 必要のない罫線を削除します。</li> <li>• 集計データ(売上げ高)の文字サイズ(ここでは16ポイント)を変更します。</li> <li>• 文字列で[小計]と入力します。文字サイズ(ここでは16ポイント)を変更します。</li> </ul>

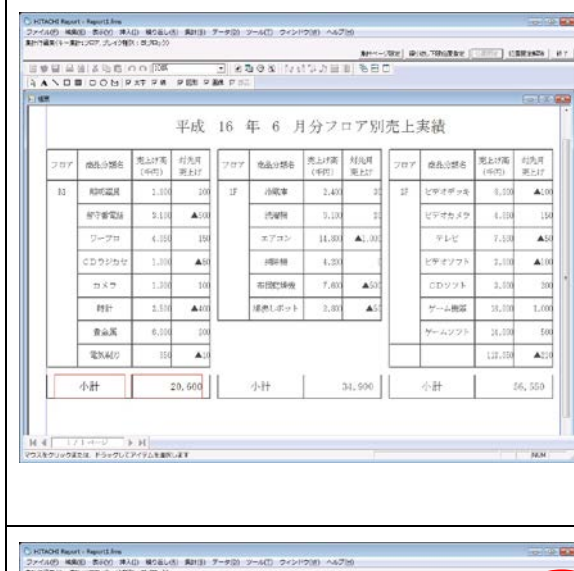


④ 集計行の表示位置を変更します。

今までの編集で集計行がだいぶ目立つようになりましたが、さらに各ブロックで集計行の位置を合わせるともっと見栄えがよくなります。

ツールバーの[位置固定]ボタンをクリックします。

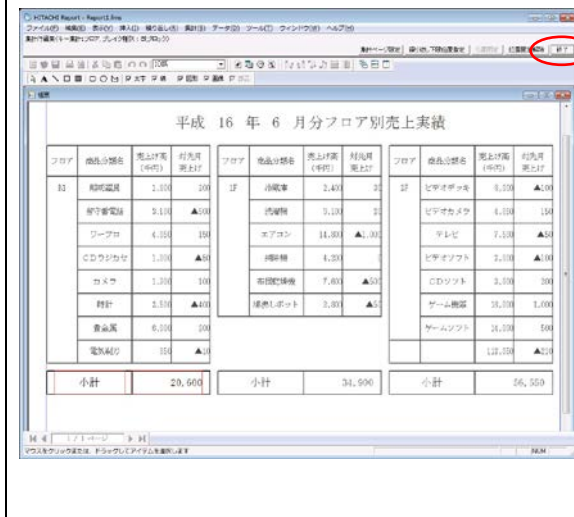
このボタンは、編集対象となる集計行(キー集計)に改ブロック、または改ページを設定しているときに選択できます。



⑤ 集計行を配置したい位置へドラッグします。

各ブロックの最後の行から少し離すようにします。

集計行を囲う罫線の欠けている部分の罫線を引いてレイアウトを整えます。



⑥ 集計行編集モードを終了します。

集計行の編集が終わったら、ツールバーの[終了]ボタンをクリックして、必ず[集計行編集モード]を終了してください。

平成 16 年 6 月分フロア別売上実績

フロア	商品分類名	売上げ高 (円)	対先月 売上げ	フロア	商品分類名	売上げ高 (円)	対先月 売上げ	フロア	商品分類名	売上げ高 (円)	対先月 売上げ
1F	総務用品	1,100	100	2F	冷感服	2,400	20	3F	ヒヤオジツキ	8,100	▲100
	留守電話	2,100	▲100		西薬	3,100	10		ヒヤオジツキ	4,100	150
	ワープロ	4,100	150			エアコン	14,000			▲1,000	サレゼ
	CDラジカセ	1,100	▲50		掃除機		4,200		0	ヒヤオジツキ	2,100
	カメラ	1,100	100		新刊雑誌	7,600	▲100		ヒヤオジツキ	2,100	200
	時計	2,100	▲100		携帯スマホ	2,800	▲50		ゲーム機	18,100	1,000
	食品類	6,100	100		携帯スマホ	2,800	▲50		ゲームソフト	14,100	500
電気料	150	▲10									
小計		20,600		小計		34,900		小計		56,550	
								合計			112,050

⑦ キー集計行と同じ操作で、総集計行の編集を行います。

ここでは以下の編集を行います。

- 必要のない罫線を削除します。
- 集計データ(売上げ高)の文字サイズ(ここでは16ポイント)を変更します。
- 文字列で[合計]と入力します。文字サイズ(ここでは16ポイント)を変更します。
- 総集計行をキー集計行の下に移動します。
- 総集計行を囲う罫線の欠けている部分の罫線を引いてレイアウトを整えます。

平成 16 年 6 月分フロア別売上実績

フロア	商品分類名	売上げ高 (円)	対先月 売上げ	フロア	商品分類名	売上げ高 (円)	対先月 売上げ	フロア	商品分類名	売上げ高 (円)	対先月 売上げ
1F	総務用品	1,100	100	2F	冷感服	2,400	20	3F	ヒヤオジツキ	8,100	▲100
	留守電話	2,100	▲100		西薬	3,100	10		ヒヤオジツキ	4,100	150
	ワープロ	4,100	150			エアコン	14,000			▲1,000	サレゼ
	CDラジカセ	1,100	▲50		掃除機		4,200		0	ヒヤオジツキ	2,100
	カメラ	1,100	100		新刊雑誌	7,600	▲100		ヒヤオジツキ	2,100	200
	時計	2,100	▲100		携帯スマホ	2,800	▲50		ゲーム機	18,100	1,000
	食品類	6,100	100		携帯スマホ	2,800	▲50		ゲームソフト	14,100	500
電気料	150	▲10									
小計		20,600		小計		34,900		小計		56,550	
								合計			112,050

⑧ 総集計行の編集が終わったら、ツールバーの[終了]ボタンをクリックして、必ず[集計行編集モード]を終了してください。

**Point** : 集計行の表示位置を、移動する前の位置に戻すには、集計行編集モードの[位置固定解除]ボタンをクリックします。

平成 16 年 6 月分フロア別売上実績


フロア	商品分類名	売上げ高 (円)	対先月 売上げ	フロア	商品分類名	売上げ高 (円)	対先月 売上げ	フロア	商品分類名	売上げ高 (円)	対先月 売上げ
1F	総務用品	1,100	100	2F	冷感服	2,400	20	3F	ヒヤオジツキ	8,100	▲100
	留守電話	2,100	▲100		西薬	3,100	10		ヒヤオジツキ	4,100	150
	ワープロ	4,100	150			エアコン	14,000			▲1,000	サレゼ
	CDラジカセ	1,100	▲50		掃除機		4,200		0	ヒヤオジツキ	2,100
	カメラ	1,100	100		新刊雑誌	7,600	▲100		ヒヤオジツキ	2,100	200
	時計	2,100	▲100		携帯スマホ	2,800	▲50		ゲーム機	18,100	1,000
	食品類	6,100	100		携帯スマホ	2,800	▲50		ゲームソフト	14,100	500
電気料	150	▲10									
小計		20,600		小計		34,900		小計		56,550	
								合計			112,050

キー集計行、総集計行が追加されたことを確認します。

### 1.1.14. 網掛け操作

網掛けアイテムを作成して繰り返しを定義します。

フロア	商品名	売上	対売上	フロア	商品名	売上	対売上	フロア	商品名	売上	対売上
31	照明器具	1,800	100	15	冷蔵庫	2,500	35	25	電子レンジ	8,000	100
	照明器具	3,150	▲100		洗濯機	3,150	35		電子レンジ	4,500	100
	エアコン	1,600	100		エアコン	14,800	▲1,000		テレビ	7,000	▲50
	エアコン	1,000	▲50		掃除機	4,200	0		電子レンジ	2,000	▲200
	カメラ	1,200	100		家庭用プリンター	7,000	▲500		CDソフト	2,000	200
	時計	2,500	▲100		携帯電話	2,000	▲50		ゲーム機器	10,000	1,000
	音楽機	3,000	200		携帯電話	2,000	▲50		ゲームソフト	24,000	500
	電器類	800	▲100								
	小計	20,600			小計	34,900			小計	56,550	
									合計	112,050	

① ツールボックスの  (網掛け) をクリックします。

カーソルの形が十字に変わります。

帳票ウィンドウ上の網掛けする位置(繰り返し定義を行ったマッピングデータ)でマウスをドラッグして網掛けの枠のサイズを指定します。

マッピングデータ [照明器具][1,800][200] の枠内を罫線に沿って覆うように指定します。

② 網掛けの繰り返しを行います。

選択モードにし、作成した網掛けアイテムを選択します。

ウィンドウメニュー [繰り返し] - [繰り返し指定] で網掛けも繰り返しにします。

**Point** : 文字アイテムも一緒に選択されてしまう場合は、ツールボックスの [文字] チェックボックスのチェックを外してください。

③ 網掛けのパターンを変更します。

網掛けアイテムを選択し、[アイテムのプロパティ] ダイアログを表示します。

[図形] タブの模様のパルダウンリストから、[薄い網掛け] を選択します。

次に 1 行おきに網掛けします。繰り返し網掛けの [n 個ごと] にチェックを入れ、個数に [2] を入力し、繰り返し模様に [透明] を選択します。

[OK] ボタンをクリックします。

フロア	商品名	売上	増減	フロア	商品名	売上	増減	フロア	商品名	売上	増減						
1F	印刷機	1,800	▲100	2F	洋楽機	2,800	▲200	3F	ビデオデッキ	3,000	▲100						
	留守番電話	1,100	▲100		洗髪機	3,100	▲200		ビデオカメラ	4,000	▲100						
	ワープロ	4,100	▲100			ビデオ	14,000			▲1,000	テレビ	7,500	▲100				
	CDラジカセ	1,000	▲100				掃除機			4,200		▲100	ビデオソフト	2,000	▲100		
	カメラ	1,200	▲100							布団乾燥機		7,000		▲500	CDソフト	3,000	▲200
	時計	2,000	▲100									掃除ロボット		2,000		▲500	ゲーム機
音楽機	6,000	▲200	ゲームソフト	14,000				▲200									
電気洗濯機	800	▲100															
小計	20,600			小計	34,900			小計	55,500								
													合計			112,000	

網掛けが繰り返し表示されたことを確認します。

2 個毎に網掛けが表示されます。

④ 表の見出しに網掛けをします。

網掛けアイテムを選択し、[アイテムのプロパティ]ダイアログを表示します。

[図形]タブの様子のプルダウンリストから、[やや薄い網掛け]を選択します。


見出し網掛けの繰り返しは、ウィンドウメニュー [繰り返し] - [見出し指定] で指定します。

網掛けが繰り返し表示されたことを確認します。

フロア	商品分類	売上金額 [円]	対前月 売上比	フロア	商品分類	売上金額 [円]	対前月 売上比	フロア	商品分類	売上金額 [円]	対前月 売上比		
1F	照明器具	1,100	▲10%	2F	消火器	2,800	◎	3F	ビデオカメラ	3,000	▲10%		
	留守番電話	1,100	▲10%		換気扇	2,100	◎		ビデオカメラ	4,000	◎		
	カーナビ	4,000	◎		エアコン	14,000	▲1,000		テレビ	9,800	▲		
	ビデオカメラ	1,000	▲5%		掃除機	4,200	◎		ビデオカメラ	3,000	▲10%		
	カメラ	1,200	◎		家庭用電器	7,000	▲500		ビデオカメラ	3,000	◎		
	時計	3,500	▲10%		通信ソフト	2,000	▲50		ゲーム機器	15,000	1,000		
	食品薬	6,000	◎						ゲームソフト	14,000	◎		
	電気用品	85	▲1%										
	小計	20,000			小計	34,900			小計	56,550			
									合計	112,050			

⑤ 集計行にも網掛けを行います。

ウィンドウメニュー[集計]→[集計行の編集]を指定して、キー集計行(フロア毎の合計)を選択しましょう。

ツールボックスの  (網掛け)をクリックして、[小計][1,800] の枠内を罫線に沿って覆うように指定します。

キー集計行の編集が終わったら、ツールバーの[終了]ボタンをクリックします。

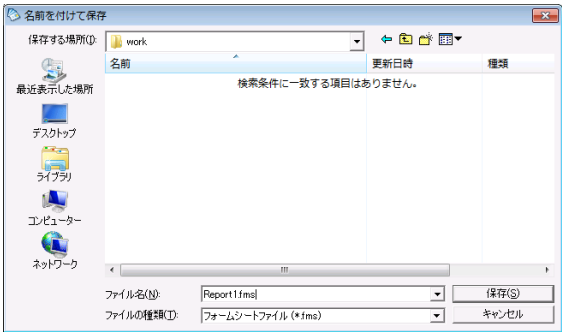

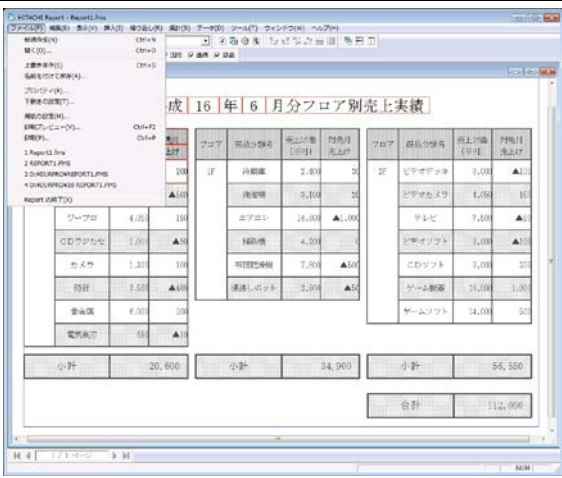


⑥ キー集計行と同じ操作で、総集計行の[合計][112,050] の枠内に網掛けを指定します。

総集計行の編集が終わったら、ツールバーの[終了]ボタンをクリックします。

キー集計行、総集計行に網掛けが追加されたことを確認します。

### 1.1.15. 作成した帳票の保存と印刷

作成した帳票をファイルに保存して、印刷してみます。

	<p>① ウィンドウメニュー[ファイル]–[上書き保存]、または[名前を付けて保存]を選択します。</p> <p>ツールボタンの  をクリックしても保存できます。</p> <p>保存する場所 C:\¥work とファイル名 [Report1.fms]を指定して、帳票ファイルとして保存します。ファイルの種類は[フォームシートファイル(*.fms)]です。</p>
	<p>② 帳票を印刷します。</p> <p>ウィンドウメニュー[ファイル]–[印刷]を選択、またはツールボタンの  をクリックします。[印刷ダイアログ]が表示します。</p> <p>印刷ダイアログで印刷するページの範囲、部数等を指定して、[OK]ボタンをクリックします。</p>
	<p>③ 帳票作成機能を終了します。</p> <p>ウィンドウメニュー[ファイル]–[Report の終了]を選択、またはタイトルバーの  をクリックします。</p>



## 2. 最後に

EUR Developer 10-30 スターターガイドは、いかがでしたでしょうか?

お客様の帳票業務に帳票ツール EUR がお役に立てば幸いです。

なお、スターターガイドでご紹介できなかった機能、本書の説明では使い方がよくわからないといった場合は、同梱のヘルプも併せてご覧ください。

### <EUR 帳票作成ヘルプ>

- ・ EUR システム設計ガイド
- ・ EUR システム構築ガイド
- ・ EUR 帳票作成 操作ガイド
- ・ EUR 帳票作成 画面リファレンス
- ・ EUR 帳票出力 EUR Designer/EUR Viewer 編
- ・ EUR データベース連携ガイド
- ・ EUR メッセージ
- ・ EUR 用語集

### <EUR サーバ帳票出力ヘルプ>

- ・ EUR システム設計ガイド
- ・ EUR システム構築ガイド
- ・ EUR 帳票出力 機能解説 EUR Server 編
- ・ EUR 帳票出力 リファレンス EUR Server 編
- ・ EUR データベース連携ガイド
- ・ EUR メッセージ
- ・ EUR V8 互換機能(サーバ帳票出力)
- ・ EUR 用語集

## 【商標類】

HITACHI、Cosminexus、EUR は、株式会社 日立製作所の商標または登録商標です。

Internet Explorerは、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Microsoft OfficeおよびExcelは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

OracleとJavaは、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。

Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

RSAおよびBSAFEは、米国EMC コーポレーションの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

本製品は、米国EMC コーポレーションのRSA BSAFE(R)ソフトウェアを搭載しています。

This product includes software developed by the Apache Software Foundation

(<http://www.apache.org/>).

This product includes software developed by Ben Laurie for use in the Apache-SSL HTTP server project.

Portions of this software were developed at the National Center for Supercomputing Applications (NCSA) at the University of Illinois at Urbana-Champaign.

This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.

This software contains code derived from the RSA Data Security Inc. MD5 Message-Digest Algorithm, including various modifications by Spyglass Inc., Carnegie Mellon University, and Bell Communications Research, Inc (Bellcore).

Regular expression support is provided by the PCRE library package, which is open source software, written by Philip Hazel, and copyright by the University of Cambridge, England. The original software is available from <ftp://ftp.csx.cam.ac.uk/pub/software/programming/pcre/>

This product includes software developed by Ralf S. Engelschall <[rse@engelschall.com](mailto:rse@engelschall.com)> for use in the mod\_ssl project (<http://www.modssl.org/>).

This product includes software developed by IAIK of Graz University of Technology.

This product includes software developed by Daisuke Okajima and Kohsuke Kawaguchi

(<http://relaxngcc.sf.net/>).

This product includes software developed by the Java Apache Project for use in the Apache JServ servlet engine project (<http://java.apache.org/>).

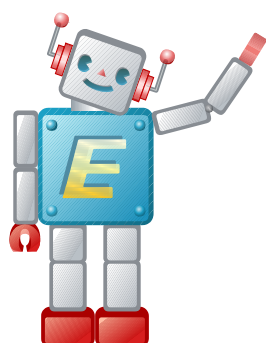
This product includes software developed by Andy Clark.

その他記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

本製品には、市販暗号プログラムとして「uCosminexus Primary Server Base」を同梱しています。

当該製品の使用方法につきましては、以下のマニュアルを参照して下さい。

- ・日立ソフトウェアマニュアル：オンラインマニュアル Cosminexus  
[http://itdoc.hitachi.co.jp/Pages/document\\_list/manuals/cosmiv9.html](http://itdoc.hitachi.co.jp/Pages/document_list/manuals/cosmiv9.html)



「EUR Developer 10-30 スターターガイド」を  
読んでいただき、ありがとうございました。

■EUR 導入に関するご相談・お問い合わせ窓口

i-biz@itg.hitachi.co.jp

※個人情報保護ポリシー(<http://www.hitachi.co.jp/soft/privacy/>)に  
ご同意の上ご連絡ください。

■製品情報サイト

<http://www.hitachi.co.jp/soft/eur/>

2016年12月作成

20161206